

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	ニチイキッズ三軒茶屋保育園
施設所在地	世田谷区三軒茶屋1-2-21アミックビル1F2F
法人名	株式会社ニチイ学館

1. 活動のテーマ

<テーマ>

色

<テーマの設定理由> ※①②両方について記載

①テーマの設定に活かした園の環境や強み

学年ごとに分かれている保育室を活かして、クラスごとの広い空間で大きなマットや模造紙を広げて活動を行っていく。

②設定したテーマに子供の興味関心があると判断した理由

日々の保育の中で、おもちゃやクレヨン、風船や車などを選ぶとき、子ども達には好きな色があり、その色へのこだわりがある。そのためこのテーマに子ども達の興味や関心があると判断した。

2. 活動スケジュール

①1/20(火) 子どもたち一人ひとりが好きな色を選びとっていく。好きな色のリボン、好きな色のマット、好きな色のボトルを選んで混ぜるなどして使用していく。

②2/5(木) ボトルを振ることを楽しんでいたので、透明な色のボトルが振ってみると、引き続きいろいろな色に変化する様子を観察する。好きな色を選んで作った色のボトルで、乾杯をする姿などがあったので、おままごとができる空間で、みたて遊びをして遊ぶ。

③3/5(木) ままごとをしている時に立てていた壁に色をつけたいと声があったので大きな模造紙に、筆や、はけ、ローラーなど、様々な道具を使用して色をつけていく。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

①1/20(火) スモッグ、4色(赤、青、黄色、緑)のハチマキのリボン、4色のマット、4色の絵具を入れたボトルを準備する。スモッグを着用し、リボンを色ごとにわけて箱に入れ、机の周りに4色のマットを敷、座れるようにして、着席後にボトルを子どもたちが選取りれるようにする。

②2/5(木) 蓋に色をつけた透明のボトル、自分たちで色を混ぜて作ったカラーボトル、おままごとセット、長椅子、シート、机、壁に見立てた段ボールを準備する。マットの上に机を置き、その上に前回作ったボトルを用意し、次に透明のボトルを用意する。マットの周りにままごとセットや長椅子、段ボールの仕切りを立てる。

③3/5(木) ブルーシート、机、模造紙、絵の具、筆、はけ、ローラー、車ローラー、トレーを準備する。前回しきりにしていた段ボールに腫れるように模造紙を準備し、机の上に貼り付ける。専用の机の上にトレー絵具のいれ、筆などを置く。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ①1/20(火)好きな色の物を選んでみよう。好きな色と好きな色を混ぜたものは好きな色？
- ・目の前のリボンに興味を持ち、好きな色を考え選んでいた。
 - ・友だちと好きな色が違った時にその色を混ぜた時にどうなるかということに興味を持ち、想像していた。
 - ・色が混ざる様子に興味、関心を持ちよく観察をしていた。
- ②2/5(木)自分で作成した好きなボトルで、ままごと遊びをしてみよう。
- ・前回作った色水の色を思い出し、ペットボトルに入っていることで何に見えるかを想像した。
 - ・園で飲んでいる牛乳とは違う色だが、作った色水はどんな飲み物に見えるか、またどのように使用して遊びたいかなどを考え、遊びの広がり興味を持っていた。
- ③部屋の壁の色を好きな色で、色をつけてみよう。どんな道具を使う？
- ・真っ白な模造紙と目の前の玩具や道具に興味を持ち、どのように使うか想像していた。
 - ・保育者が説明をすると、ローラーを転がしたり車を使用し色塗りを楽しんでいた。色が重なることで想像していた色だったり思っていなかった色になるのを楽しんでいた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- (活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)
- ①1/20(火) 自ら好きなリボンを選んでつけて、好きな色のマットに座って、好きな色のボトルを選んで、選んだ2本のボトルを混ぜて色の変化を観察する。
- ・絶対に赤がいい！緑がいい！黄色がいい！と、すべて同じ色を選ぶ子もいるが、全部ばらばらの色を選び、その色その色を楽しむ子もいた。ボトルを振って色が変わることが楽しくてしばらく振り続ける姿もあった。
 - ・一人ずつ二つのボトルの色を合わせる様子を観察したが、2色の色を混ぜて色が変わっていく様子を見て、毎回新しいものを見るように驚いていた。色の変化を自ら考え予測してどンドン発言していた。
 - ・保育者が「黄色と黄色を混ぜたら何色になると思う？」と聞くと「黒！紫！赤！」などと発言する子たち。黄色になると、そのことも驚いている様子だった。違うボトルを混ぜると違う色になると考えている様子だった。
 - ・素敵なボトルがたくさんできると、友だち同士で乾杯があちこちで始まった。「ジュースみたいだね。」「おいしそう。」「おままごとしたい。」という声が高まっていった。
- ②2/5(木) 自分たちで作ったボトルで、おままごとをしたいということ、ボトルをたくさん振りたいという思いがあったので、まずはキャップに絵具がついた透明のボトルを振ると色が変化する様子を観察した。その後たくさん作成したボトルを使用して、ままごとを楽しむことになった。
- ・透明のボトルを何色？と聞くとそろって白！と答える子が多かった。透明のボトルを振ると色々な色になっていく様子を、自分のものと友達ものを見比べている様子があった。
 - ・キャップについた微かな色から好きな色を選び、絶対にそれが欲しいという子がいた。振り続けるともっと色が変わるのではないかと振る子もいた。
 - ・やはりたくさんボトルが完成すると、乾杯をしていたのでままごとを始める。するとたくさんボトルを並べる子、好きな色をボトルから食材まで、集める子がいた。
 - ・ついでにしていた段ボールに「好きな色をつけたい」という子がいて、「どんな色にする？」と聞くと思い思いの色を言っていた。「みんなの色を合わせてレインボーにしたらいんじゃない？」という子もいた。
- ③3/5(木) 壁を素敵な色にしようということで、白い大きな模造紙と5色のトレーに筆やはけ、ローラー、車ローラーを準備して、好きな色で色をつけていく。
- ・最初は恐る恐る筆を動かしていた子どもたちに、白いところがなくなるように塗ってみようと言っていると、大胆にローラーを動かして、楽しむ姿が見られた。
 - ・筆だけでなくはけや、ローラーなど、いろいろな道具を使用する子もいれば、ずっと筆を持ちづづけて描いている子もいた。白いところがなくなると、もっと塗りたいと言っていたので、絵具をどンドンつけたし、模造紙を増やし塗る子もいた。
 - ・いろいろな色が塗られていくと、「ほら！やっぱりレインボーになった！」と喜ぶ声が聞かれた。
 - ・車ローラーは、車の形や色にまで、こだわって選ぶ子もいたが、車を動かして、タイヤが動くと線がついていくと「素敵な模様になった！」と言っていろいろな模様を作っていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・大人にとっては当たり前だと思っている色の変化を、新鮮に驚き楽しんでいる子どもたちの姿に刺激を受けました。喜んで取り組む姿を見ながら、子どもたちの探究心をたくさん育てていきたいと思いました。

・日ごろの保育の中で思い切り絵具で遊ばせてあげられる機会がなかなかありませんでした。このようなプログラムを行うことで、準備は大変でしたが、保育材料や環境を整えていただき、取り組むことができて、本当にありがたいと思いましたし、今後もいろいろなアイデアが浮かんできそうです。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	ニチイキッズ三軒茶屋保育園
施設所在地	世田谷区三軒茶屋1-2-21アミックビル1F2F
法人名	株式会社ニチイ学館

1. 活動のテーマ

<テーマ>

色と光

<テーマの設定理由> ※①②両方について記載

①テーマの設定に活かした園の環境や強み

保育室が2階なので日の光がたくさん入る環境を活かし、カラーセロファンやカラーポリ、ビーズボールを使用し活動を行っていく

②設定したテーマに子供の興味関心があると判断した理由

戸外散歩時に自分の影を見つけて指をさしたり不思議そうに見たりしている様子があり、お絵描きをしているときには色にも興味を示し声に出していたので、ふたつを組み合わせるこ

2. 活動スケジュール

11月～12月にかけて3回～5回に分けて活動を行う

①「どんな色が好き」の歌に合わせてカラーセロファンやカラーポリを出し色を楽しむ。

②窓ガラスやメリーにカラーセロファンを貼り、色のついた影を指さしや視線で追えるようにして楽しむ

③ビーズボールに同じ色のビーズが入っているのを見つけ、振ったり投げたりして影の動きを楽しむ。自分で画用紙に色を付け色が付く様子を楽しむ

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

準備したもの

①カラーセロファン、カラーポリ、音の出る玩具

②メリー

③ビーズボール、スタンプ台、模造紙

環境設定

①子どもたちが見やすいよう配置、セロファンやカラーポリの大きさを考慮し、興味を持てるようにする

②ベビーベッドに設置し、下から眺めることのできるようにする

③ボール遊びも含まれるよう室内を広く使えるように整えた。模造紙を床や壁に大きく貼り、関心を持って取り組めるようにする

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ①歌に合わせてたくさんの色を知ろう。好きな色は何色かな？
 - ・歌を歌ったり保育者が次々に出すカラーセロファンに興味を持ち、次に何色が出てくるかを考える
- ②たくさんカラーセロファンやカラーポリを窓やメリーに貼るとどんなことがおきるかな？
 - ・カラーセロファンを窓に貼ることで影の色が変わり、自分でも貼ってみたいと手を伸ばし、保育者と一緒に貼り付ける
- ③ボールの中のビーズは何色があるのかな？いつもと違い中に見えるボールだと転がった時の影はどんなかな？転がしたり顔に近づけて見てみよう
 - ・ボールを振ると音が鳴ることに興味を示し、中に何が入っているのかにも関心を持って見ていた。保育者が説明することで転がしたり振ったりしてボール遊びも楽しんでいた。大きな画用紙にも興味を示し、保育者がスタンプをすることで興味・関心を持ち自由に色付けを楽しんでいた

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ①歌を楽しみながら次々と出てくるカラーセロファンを色を観察する。音の出る玩具で光とともに色を観察する。
 - ・保育士が取り出したカラーセロファンをジッと見つめたり知っている色は声に出す子もいた。
 - ・手を伸ばして欲しそうにする子も見られた。
 - ・手渡すと握ってカシャカシャする音も楽しんでいた。
 - ・玩具から音楽が流れると身体を揺らす様子も見られた。
- ②カラーセロファンが貼られる様子を観察する
 - ・保育士がセロファンを貼っていると、次はこれを貼ってほしいと手渡す子がいた。
 - ・メリーに貼ると窓を指さし窓に貼ってほしいとアピールする子もいた。
 - ・メリーが回る様子と影が回る様子をよく観察していた。
 - ・カラーポリをかぶり中から色を見ようとする子がいたので、保育者が危険のないように補助をした。
- ③ビーズボールを使用し色のついた影だけではなく顔に近づけることで見える物の色が変わるのを楽しむ。画用紙に自分で色を付けて楽しむ。
 - ・ビーズボールを転がすのが楽しくなる子もいた。
 - ・保育士が顔に近づけると「いないいないばあ」のように楽しむ子もいた。
 - ・保育者の声掛けで色のついた影を指さす姿があった。
 - ・手が汚れるのを嫌がる様子も見られた。
 - ・インクが付いた手を不思議そうに見る子もいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

予想以上に色への興味が広がり、色を言葉にして発しようとする姿が見られたことに感心した。いつもと同じ遊びでも素材や材料を変えることで子どもたちの興味の持ち方がより深くなるので、興味の幅がもっと広がるよう環境設定や言葉かけ、材料の見直しなど職員も多くのことを学べたと思います。